

研究課題名：化学療法により発症する B 型肝炎対策支援プ

ロトコールの運用実態調査

〈疫学研究内容〉

- 研究期間：2018年1月16日～2018年5月31日まで
- 対象者：2017年6月1日～2017年11月30日に栃木医療センターにおいて抗がん剤を院内・院外処方された患者
- 目的：B型肝炎ウイルス(HBV)キャリアの悪性腫瘍患者に対し、化学療法を施行した場合、HBVの再活性化(reactivation)により致死的な重症肝炎が発症することがあります。そのため、スクリーニング検査の実施やHBVキャリアに対する化学療法時には、核酸アナログを予防投与してHBV再活性化を避けることが重要です。事前に医師・薬剤師等により作成・合意した手順書に基づき、個々の患者にとって、有効かつ安全な化学療法の実施ができることを目的として手順書を作成し、院内で運用を開始しました。今回、プロトコールの運用する前後においてHBs抗原、HBs抗体、HBc抗体、HBV-DNA定量の測定実施率がどのように改善されたかを調査します。

疫学研究とは、人の病気の原因、病態の解明及び予防方法と治療方法の確立を目的とする研究です。薬剤部では、患者さんの診療記録から得られた情報を利用して、下記の疫学研究を行っています。この疫学研究は、栃木医療センター倫理委員会の承諾を得て、研究責任者のもとで行われています。既に記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たなご負担はおかけ致しません。また、研究結果は学会や学術雑誌に発表される事がありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重され、個人情報（お名前など）が外部に公表されることはありません。よって、この疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記ご連絡先までご連絡頂ければ、研究対象から除外させていただきます。なお、同意されない場合でも、診療上不利益を被ることはありません。また、疫学研究に関して詳しい説明を希望される場合も、下記ご連絡先にお問い合わせいただきますようお願い致します。

〈本研究に関するご連絡先〉

栃木医療センター 薬剤部 医薬品情報管理主任

研究責任者：佐藤 公彦

TEL (028)-622-5241